

**三菱航空機、三菱スペースジェット飛行試験機(10号機)の初飛行を完了
最終的で型式証明可能な形態での飛行試験を実施****2020年3月18日 名古屋発—**

三菱重工グループ内の三菱航空機は3月18日(水)(日本時間)、三菱スペースジェット M90 の最新かつ型式証明可能な形態(Certifiable Aircraft)である10号機の初飛行を完了しました。

試験機は、14時53分(日本時間)県営名古屋空港を離陸後、太平洋側の飛行試験空域を利用し、飛行状態における基本的な機体性能の確認を行い、約2時間の飛行試験の後、16時40分(日本時間)、県営名古屋空港に着陸いたしました。10号機の初飛行が完了したことにより、当社が全力で取り組む日本初の民間ジェット旅客機に対する型式証明飛行試験は、試験完了に向け最終フェーズに入りました。

当社三菱航空機の水谷久和社長は、「今年1月に三菱重工から三菱航空機に引き渡された10号機が、無事初飛行を達成できたことを大変嬉しく思います。機体の開発にあたり、サポートして頂いている皆様、長きに渡り応援して頂いているすべての皆様に、改めて深く感謝申し上げます。当社は型式証明の取得に向けて引き続き全力で取り組んで参ります」と述べました。

最高開発責任者であるアレックス・ベラミーは「本日の初飛行完了を受けて、当社は、三菱スペースジェット M90 の最終的で型式証明可能な形態での型式証明飛行試験を開始するという、大きな一歩を踏み出しました。今回の成果は、チームの努力、組織改革の成果、そして2016年以降に実施された改良を反映したものであり、私たちはこの成果に対して強い誇りを持っています。スペースジェット M90 プログラムの型式証明取得に向けた更なる前進を期待しています」と述べました。

また、本初飛行にあたりパイロットを務めた高瀬浩義操縦士は初飛行完了後、「三菱スペースジェットの最新試験機の改良結果を大いに実感することができました。機体の完成度は高く、スムーズかつ安全なフライトになりました」とコメントしました。

今後、10号機は国内での飛行試験を継続し、準備ができ次第、米国での飛行試験拠点「モーゼスレイク・フライトテスト・センター(MFC)」にフェリーし型式証明の最終フェーズの飛行試験を実施する予定です。

飛行情報

- ・機体: JA26MJ(10号機)
- ・離陸時間: 14:53(日本時間)
- ・着陸時間: 16:40(日本時間)
- ・操縦士名: 高瀬 浩義(総飛行時間:約 7,700 時間) 宇田川 章(総飛行時間:約 11,600 時間)

【本件に関するお問い合わせ先】
三菱航空機 広報窓口
花澤 山本 大嶽 佐藤 Tel: 0568-39-2234